

東京都隊友会墨田支部長退任にあたって

新天皇が即位して平成から令和に年号が改められ、各種の祝賀行事が執り行われて日本中が明るい未来を信じて間もなく、中国武漢から発生した新興感染症により、我々の日常生活は大規模な変革を余儀なくされ、1年半を経過した今もなお続いています。

このようなコロナ禍において、任期中最後の2年間は支部活動がほぼ凍結されてしまい、会員の皆様と触れ合う機会を持つ事が出来ず誠に残念でした。

退任にあたり任期中の事がいろいろと思い出されますが、最も良き記憶は、議員会館で宇都隆史先生の講演会を開催できたことです。宇都先生には日本の歩んできた歴史と今後進むべき道をお示しいただきました。大変お忙しい身でありながら、その後も当支部と深いかわりを継続して頂けており感謝しております。今後も末永く良き関係を続けていただきたいと思います。

また最も悪しき記憶は、青木副支部長をご病気で失ったことです。小職の職業柄、ご病気の発覚から最期まで関わらせていただきましたが、今もなお猪突猛進な元気な青木副支部長のお姿が臉に浮かびます。あらためてご冥福をお祈り申し上げます。

在任中は、青木副支部長をはじめ並木副支部長、飯田副支部長（新支部長）にはたくさん助けていただきました。そして縁の下の力持ちである細川事務局長や森田理事役、高畑理事役、渋谷理事役、津森監事役、三浦監事役にはたいへんお世話になりました。支部を支えてくださった全ての皆様に深く感謝しております。

さて現在大規模なワクチン接種が進んでおり、新型コロナウイルスに対する集団免疫を獲得できれば、そう遠くない未来に今までの日常がかえってくると思います。

原田初代支部長から受け継いだバトン、飯田克幸新支部長に引き継ぐことで、支部は新しくより良く生まれ変わるものと確信しております。コロナ禍の長いトンネルを抜けて、飯田支部長の指揮のもとで活発な支部活動が再開され、自衛隊と墨田区民の懸け橋としてさらに発展成されることを祈念しております。



令和3年6月23日 東京都隊友会理事役 墨田支部相談役 大桃 丈知